



【我々に与えられる神の慰めと救い】

本文:イザヤ書40:1-5,10-11/暗唱聖句:イザヤ書9:6-7

説教者:鄭南哲牧師
(Rev.Jung nam-chul)

<1.預言書と預言者>

今日我々に与えられた旧約の23番目の聖書は全部で66章で書かれているイザヤ書です。このイザヤ書から始まる旧約聖書の預言書は旧約聖書の最後の聖書であるマラキ書まで17冊で構成されています。旧約聖書には祭司も出るし、預言者も出ます。祭司は民の代わりに神様の御前に入る者で、神様の御前で人間を代表します。反面、神様から人々に出て来るものが預言者です。そういうわけで、預言者は特別に神様から召しを受けた者で、神様の御心を人々に伝える神様の代弁者のような存在でした。ですから、旧約聖書で、預言者は‘神の人’(第一サムエル9:6,第一列王12:22,17:8),‘主のしもべ’(イザヤ44:1,エレミヤ25:7,イザヤ52:13),‘神の使者(イザヤ42:19,マラキ3:1)とも呼ばれています。

ですから、預言者たちはいつも、“主は仰せられる”ということばで預言しました。イザヤ書1章の場合も11,18,20,24節などでこのように始まっています。旧約聖書ではこのような表現が3500回も出ています。神様の預言者たちは自分の命が脅されても、絶望の中でも、逃げたくても神様の御つげを伝えなければならない神の使命を頂いた者でした。

<2.イザヤ書とは?>

今日の本文であるイザヤ書は旧約の初めの預言書として、イザヤと言う名前の意味は‘神は救い’,‘神は救い主である’と言う意味です。預言者イザヤは約60年間働き神の御手の中で用いられました。イザヤ6章1節によると、彼は働き始めた時が“ウジヤ王が死んだ年に”だと書かれています。その時が紀元前739年ごろでした。それからアッシリアの王セナケリブ(イザヤ37:21)が死んだ年である紀元前680年までイザヤは働きました。つまり、その期間の時は北イスラエル王国が敗北して、南ユダ王国の滅亡の終末が近づいた時でもあります。ウジヤ王が死んだ後、ヒゼキヤ(728-687)王とマナッセ(687-639)王の初期までイザヤ預言者は働きました。

その時期をもっと詳しく聖書を通して見ると、イザヤ預言者が働いていた時代は、北イスラエル王国は王と民の罪と偶像崇拜によりもう強大国アッシリアの攻撃によって滅ぼされる直前の状況でした。そして、南ユダ王国も経済的には豊かでしたが、偶像崇拜が蔓延(まんえん)し、正義や倫理なども落ちいてしまった最悪の状況でもありました。この状況の中で神はイザヤ預言者を召しウジヤ、ヨタム、アハズ、そしてヒゼキヤ王の時代の南ユダの未来をながめながらイスラエルの民に悔い改めをうながし、ただ神のみを頼るようにと引き続き預言したのです(イザヤ30:1-2)。

みなさんご存知のように66章の長い御言葉です。このイザヤ書が書かれた目的は南ユダの民を偶像崇拜と道徳墮落から救い出し神を恐れかしこむようにとさせるために記録されている事がわかります。しかし、同時にご自分の民を救うために来られるメシアなるイエス・キリストに対する預言の箇所が多いので‘イザヤによる福音’だとも言われています。

<3.イザヤ書の内容>

イザヤ書は大きく2つに構成されています。1章-39章まではおもに神の裁きを主題にしています。偶像崇拜と宗教的犯罪、そして、神様を頼らず、異邦勢力の力と武器に頼り、弱者を抑圧(よくあつ)する社会的犯罪を指摘しています。神様の裁きは分かれた北イスラエルと南ユダだけではなく、異邦の国々にも同じく適用されます。これを通して神様の全民族と国々への絶対主権を表してくれます。

そしてイザヤ書の二つ目の部分は40章から66章までですが、この後半部の主題は神からの回復と慰めです。

預言者イザヤは続いて神に悔い改めず、神に再び立ちかえろうとしない当時民の偶像崇拜と背教(イザヤ9:13),その結果ユダの敗亡を預言しました。罪を犯したものに対する神の裁きを予告しました。そして次は南ユダの回復と再建を預言したわけです。

神の預言者イザヤはユダが偶像崇拜によって国を失い、束縛されますが、それで完全に破滅ではなく、バビロンの捕虜から解放され、もう一度再建される事を宣べ伝えました。そういうわけで、イザヤ書全体の主題を一言でまとめられると神の救いだと言えます。当時強大国だったアッシリアからの救いを、そして後日(ごじつ)バビロンからの救いを預言し、実際北イスラエルと南ユダは滅ぼされ、もう人類の歴史の中で消え去るように見えたが、神のあわれみのゆえに彼らは回復され再建されるようになる事をイザヤ預言者は民に伝えました。しかし、このイザヤ書には神からの究極的救いとして、この地に来られるメシアなるイエス・キリストによる未来の完全な救いと回復を約束されます。その内容が40章以下の内容です。

今日の本文であるイザヤ40章1節に、“慰めよ。慰めよ。わたしの民を。”とあなたがたの神は仰せられる。!”と書かれています。しかし、敗亡と奴隷の生活を目前にしている絶望の中の民に神様はどんな根拠で慰めを与えて下さろうとされたのでしょうか? イザヤ40章1節以下によると、3つの根拠をもって慰めてくださっている事がわかります。

<4.神様が我々に与えてくださる慰め>

一つ目は神様は我々の神様になるという‘変わらない約束’をとおして慰めて下さいます。40章1節によると、“あなたがたの神は仰せられる”“あなたがたの神”と言われます。神様と我々の変わらない関係、関係の回復をとおして慰めて下さっています。1節で“あなたがたの神”そして、“慰めよ。わたしの民を”と言っています。今まで神様を裏切り、神様の御前で罪を犯した民だったのにもかかわらず神様は信仰の先祖たちから結んだ約束をやぶらないで、相変わらず彼らをわたしの民だと言いながら彼らを受け入れ、愛しておられるのです。神様は我々との約束を守り、相変わらずわたしの民、あなたがたの神だと言っておられるのです。当時イスラエルの民だけではなく、今日の我々にまで大きい励みになるのはその神様が今も変わらず私の神となるということと、われわれはその神の民となることではありませんか？

二つ目に、神様が我々にくださるもう一つの慰めは罪赦しです。

本文の2節をごらんください。”**労苦は終わり、その咎は償われた。**”ここで、**労苦の時は大変だった時(hard service)**ですが、一次的には**当時バビロンの捕虜生活**を言います。そしてその咎は償われたということは**罪の代価は払われた**という意味です。**神様の慰めの核心は罪の赦しにあります。**ですから、罪の結果、その罪によって苦しみますが、完全に罪によって滅ぼされません。なぜなら、その罪を神が赦して下さるからです。ですから、罪赦しとは私がその代価を払ったからではなく、神様の恵みによるのです。これが我々が受ける慰めです。詩篇103編12-13節、“東が西から遠く離れているように、私たちのそむきの罪を私たちから遠く離される。父がその子をあわれむように、主は御自分を恐れるものをあわれまれる。”

三つ目、神様の慰めの根拠はメシヤ救い主ならイエスキリストの到来です。

いったいなぜメシヤなるイエスキリストに対する預言と成就が我々と全人類に慰めとなるのでしょうか？

それはイザヤ書を通して預言された来られるメシヤがどんな方であるかを見ればその理由がよく分かりようになるでしょう。

今日の本文10-11節はメシヤとして来られる方(イエスキリスト)の働きを表します。

“見よ。神である主は力をもって来られ、その御腕で統べ治める。見よ。その報いは主とともにあり、その報酬は主の前にある。11 主は羊飼いのように、その群れを飼い、御腕に子羊を引き寄せ、ふところに抱き、乳を飲ませる羊を優しく導く。”

特にイザヤ書にはそのメシヤなるイエス様の働きをたくさん預言されました。

この地に来られるメシヤ、救いはその預言の通りに預言者イザヤを通して預言されてから700年後、イスラエルのベツレヘムでみどり子としてお生まれになりました。その方が救い主主イエスキリストです。またこの方はどんな方だとイザヤ書には預言されていますか?(イザヤ9:2, 6-7節)”

“やみの中を歩んでいた民は、大きな光を見た。死の陰の地に住んでいた者たちの上に光が照った。6 ひとりのみどりごが、私たちのために生まれる。ひとりの男の子が、私たちに与えられる。主権はその肩にあり、その名は「不思議な助言者、力ある神、永遠の父、平和の君」と呼ばれる。7 その主権は増し加わり、その平和は限りなく、ダビデの王座に着いて、その王国を治め、さばきと正義によってこれを堅く立て、これをささえる。今より、とこしえまで。万軍の主の熱心がこれを成し遂げる。”

特に6節の言葉はこの地に来られたイエスキリストがどんな方であるかを正確によく教える箇所です。“ひとりのみどりごが、私たちのために生まれる。ひとりの男の子が、私たちに与えられる。主権はその肩にあり、その名は「不思議な助言者、力ある神、永遠の父、平和の君」と呼ばれる。”

“ひとりのみどりごが生まれる”ここで“生まれる”という箇所はイエスキリストの人間性を現します。メシヤであるイエスキリストは私たちが親を通して生まれるようにおなじく人間的出生の過程を経験されました。私たちと同じように人間のかたちでこの地に来られる事を予言された箇所です。イエス様は実際おとめマリアの体をとおしてこの地に来られました。

“そして一人の男の子が、私たちに与えられる”と予言されています。イエス様は人間の姿で来られましたが、その方は上から与えられた神の子であるということです。つまり予言のとおりにも与えられたイエスキリストの神性を意味します。

なによりもイエス様の名前には我々に4つの力を持ってこの地に、私たちに与えられました。

① 不思議な助言者(Wonderful counselor)

神様がこの地に与えてくださったイエスキリスト、“その名は**不思議な助言者、驚くべき指導者**”だという意味をもっています。ヘブル語の原語では“ヤアツ”といいますがこれを訳すと“**知恵に満ちた方**”という意味です。英語では**おどろくべき助言者(Wonderful counselor)**という意味です。

愛する信仰の家族のみなさん! 今日、私たちに足りないことは何でしょうか。それは知恵です。私たちがどんなにすばらしい教育を受け、たくさんの経験をつんだとしても私たちはまだ霊的知識が足りなく、霊的知恵が足りません。しかしイエス様はあらゆる問題を解決し、解ける知恵を持つ方です。

ですからあらゆる面において知恵が足りない私たちにメシヤはかならず必要です。そのときこそ私たちはキリストにあって我々をお造りになった本当の創造主神様がどんな方であるかがわかります。そしてキリストにあって自分の存在がわかります。自分がどれほど罪深い者であるかがわかります。イエスキリストを信じることによって罪の代価によって永遠に滅びることなく、永遠の命を得、救われるという救いの真理もわかります。キリストにあって今まで知らなかった自分の人生の生かされているまことの目的を見つけます。イエス様は驚くべき我らの助言者となってくださいました。ですから知恵が必要なら神様に求めてください(ヤコブ1:5)。すでに神様は私たちに神の知恵をプレゼントしていただきました。その救いと慰めのプレゼントが今日私たちに与えられています。神様が御子イエスキリストを通してすでに私たちに与えられている知恵を感謝をもっていただく幸いな人生となりますように祈ります。

② 力ある神様 (Mighty God)

この地に來られたメシヤであるイエスキリストが本質的に**全能の神**だと神様は言われます。

ここで全能あるという単語は英語ではMightyだと書かれています。この意味は**すべての力**を言います。私たちがこの世で生きるために知恵だけあってはいけません。様々な戦いの中で生きている我々には**力も必要なのです**。この世では知識、物質、権威などを力だと思ひ込んで方々は多いと思ひます。しかしこれらのすべての力は全部過ぎ去る影のようなものにすぎません。しかし、來られる、そして實際來られた救い主なるイエスキリストは**全能の神様(Mighty God)**であると預言されました。私たちの痛みをともにしてくださる方だけではなく、私たちのすべての苦しい、熾烈な戦いのある人生の環境でさえ、貫き変えてくださる力ある主なのです。それだけではなく罪と死の力をやぶり、私たちを暗闇から光に、地獄から天国に、死からいのちに移してくださる力を持っておられる方が我々に來られる、そして來られたイエスキリストこれがまさに神からの救いであり、真の慰めになるのではありませんか。

この世に來られたその力主の神様であられるイエスキリストが私たちを呼び寄せています。

“すべて、疲れた人、重荷を負っている人は、わたしのところに来なさい。わたしがあなたがたを休ませてあげます(マタイの福音書11:28)”、“あなたがたの思い煩いを、いっさい神にゆだねなさい。神があなたがたのことを心配してくださるからです(第一ペテロ5:7)”助言者であり、力あるメシヤなるイエスキリストに今人生のあらゆる苦しみと重荷を委ねてみてください。その方の御力によってこれらのすべてを変え、解決してくださると信じます。

③ 永遠の父

力ある神様もイエスの神性をあらわしますが、'永遠の父'もイエス様の神性を表します。しかしとっても不思議なことは、'永遠の御子ではなく永遠の父'だと書かれています。これは**我が子がつまり私、父なる神と同じ方である**という事を意味しています。ですから**イエス様を信じることを神を信じることであり、イエス様に属することは神様に属する事**です。これはイエスキリストが父なる神様と同一であることを教える御言葉です。もちろんイエスキリストは父なる神様と区別になるし、そうされます。しかしイエス様も父なる神様がもっていらっしゃるすべての本質、力と権威を同じくもってこの世に來られた事がこの箇所を通してわかるのです。

イザヤ書63章16節ではイエス様についてこのように預言されています。

“まことに、あなたは私たちの父です。たとい、アブラハムが私たちを知らず、イスラエルが私たちを認めなくても、主よ、あなたは、私たちの父です。あなたの御名は、とこしえから私たちの贖い主です。”ですからイエスキリストが永遠の神様であるなら、イエスを信じる私たちは神様を父と呼べる神の子供になれる特権を受けることとなります。

実際、イエス様は弟子たちに父なる神のような存在でした。イエス様は彼らのあらゆる問題を解決し、彼らとともにおられ、彼らの会話に耳を傾けてくださり、彼らの行く道を知らせ、御国への道を教えてくださいました。弟子たちにイエス様は希望であり、慰めであり、避け所であり、人生の全部でした。イエス様はヨハネの福音書14章でこう言われました。

“あなたがたは心を騒がしてはなりません。神を信じ、またわたしを信じなさい。(1節)”

そして9節で“わたしを見た者は、父を見たのです。どうしてあなたは、『私たちに父を見せてください。』と言うのですか。”と言って疑う弟子を正しました。もうイエスキリストがお生まれる前の700年前にイザヤ預言者は永遠の父である神様が、この地にみどりごとして生まれることを預言し、その永遠の父が実際にお生まれになったわけであります。

④ 平和の君

來られる、そして實際來られたメシヤなるイエスキリスト御自身が我々に真の慰めと救いになる理由はその方は平和の君であられる方だからです。老若男女(ろうにやくなんによ)を問わず、すべての人に必要なことが平安と平和なのです。金で、ほしがる物を全部手に入れても、みんなと仲良く行こうとしても、旅行行ったり、美しいところへわざと行ってもそれにもかかわらず私たちは真の平安や平和を持続的に手に入れる事はできません。

それは神様と平和の関係を持てなかったことが根本の問題です。しかしイエスキリストの降誕により神様と敵対していた私たちを和解させ、神様の子として受け入れてくださったのです。

旧約聖書は、神様の名前の中で“ヤフェシャロム”という名前を紹介します。これは“我らの平和なる神様”という意味です。

新約聖書エペソ人への手紙2章14節ではイエスキリストをこのようにあらわします。“キリストは私たちの平和であり。”

イエス様がお生まれになった時、御使いたちが現れ、どう知らせましたが。

“「いと高き所に、栄光が、神にあるように。地の上に、平和が、御心にかなう人々にあるように。」(ルカ 2:14)”

イエス様の誕生の700年前、すでにイザヤ預言者は生まれるイエス様について“平和の君(Peace of Peace)”だと預言しました(6節)。

間違いなく救い主なるイエスキリストはこの地におられる間、神様の平和の福音を伝え、十字架につけられる前夜、愛する弟子たちにこのようなメッセージを残します。“わたしは、あなたがたに平安を残します。わたしは、あなたがたにわたしの平安

を与えます。わたしがあなたがたに与えるのは、世が与えるのとは違います。あなたがたは心を騒がしてはなりません。恐れてはなりません。”(ヨハネの福音書 14:27)

イエス様はこの地に来られ人間と神様との間に、まことの平和を取り結び、キリストを信じる者たちにはもう二度も切れる事がない永遠の保障を印するためにご自分のいのちを十字架の上で流して下さったわけであります。

イエス様はよみがえられた後も、一番に言われた言葉もこの平和の言葉でした。

“平安があなたがたにあるように”(ヨハネ 20:19)

愛するみなさん!まことの神の平安と平和は単純に環境を改善する事で得られるものではありません。お金で買えるのもできません。世の学歴や権力で得られるものでもありません。みなさんの願い事がかなえられたとして手に入れることはできません。まことの平和は平和の王であるイエスキリストを受け入れるとき与えられ、体験できるものです。

ですから、メシアが来られる神の約束は苦しめられている民に究極的慰めであり救いとして、いただいて生かされる一番大切な神からのお贈りものでした。今日のイザヤ40章の始めに“慰めよ。わたしの民を”と言われた後この3つを根拠として慰めてくださったのです。

<まとめ>

今日のイザヤ書のメッセージをまとめたいと思います。愛するクリスチャンプレイズチャーチの信仰の家族のみなさん！神様は御自分の民を懲らしめましたが、彼らをふたたび回復させてくださいました。これは神様の約束がやぶれてないことを表します。彼らが罪を犯した時、神様は彼らを懲らしめましたが、彼らを放っておかないで、かららず神様はその痛みを慰め、癒し、彼らを救い出してくださいました。時に神様は続けて罪の中にいる我々を懲らしめますが、それは我々を愛する証拠です。ふたたび我々をつつみ、われわれを‘わたしの民’だと慰めて下さいます。

そして、神様はイザヤ書を通して我々が神様の約束された民である事を認識させ、これをとおして我々を慰め、永遠の慰め主であるイエスキリストが我々に来られることを預言しています。ですから、イザヤ書の預言のとおりに来られたイエスキリストのみが我々の完全な慰め主であり、回復者であり、救い主である事をもう一度今日確かめる事ができるように祈ります。イザヤ書の預言の通りに来られ、いまもインマヌエルの神様として我々とともにおられる救い主イエスキリストにあるまことの慰めと平安と回復と救いの感激をこれからも頂き、味わって行けるクリスチャンプレイズチャーチの全神の民となりますように主イエスキリストの御名によって祝福します。アーメン！！！！